

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 25 日作成)

小委員会名	民家小委員会	主 査 名：大野 敏 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：石田 潤一郎
設 置 期 間	2017 年 3 月 ～ 2021 年 4 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>代表的な日本建築である民家の研究は、長い歴史をもち、今日なお多くの研究者による活発な活動が見られる。本小委員会では、民家研究のこれまでの経緯を継承するとともに、より発展的に活動していくことを設置の目的とする。とりわけ、日本全国にわたる研究成果の総合的収集ならびにその整理のほか、一般市民へ研究活動が伝わるように、より活発な活動を設置の目的とする。</p> <p>初年度：大会 PD 民家・集落景観の継承 –文化遺産と生活の両立に向けた知恵と工夫 2 年度：大会 PD 「雪国の民家」協力、群馬島村他の集落継承策について協力 3 年度：弘前市重伝建地区の見直し調査視察・徳島祖谷地区視察、意見交換 4 年度：歴史的町並みを核とした民家と生活の継承に関する研究会開催予定</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：あり	
	<p>主査：大野敏 (横浜国立大学) 幹事：大場修 (京都府立大学)、溝口正人 (名古屋市立大学) 委員：安高 尚毅 (小山工業高等専門学校)、長田城治 (郡山女子大学)、黒坂貴裕 (文化庁参事官付(建造物担当))、土本俊和 (信州大学)、中村琢巳 (東北工業大学)、西山和宏 (奈良文化財研究所都城発掘調査部)、平山育男 (長岡造形大学)、三浦要一 (高知県立大学)、御船達雄 (和歌山県教育委員会)、山田由香里 (長崎総合科学大学)、渡邊美樹 (足利工業大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2018 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	H29 年度実施の大会 PD 「民家・集落景観の継承」を受けて、その継続的な活動として委員レベルで進めている活動情報を持ち寄り、青森県弘前と徳島県祖谷で進行中の歴史的町並み保存の活動に、積極的に関与することを計画し、H31 年度に委員会活動として現地視察して、地元自治体および住民と意見交換することを決定した。
委員会活動の問題点・課題	実質的な活動費が使えない

その他の活動	<ol style="list-style-type: none">1. 群馬島村地区における重伝建地区へ向けた勉強会への協力（H31年度に委員会として現地視察して、地元自治体・住民と意見交換予定）2. 徳島祖谷地区における新たな重伝建地区選定へ向けた活動への協力（H31年度に委員会として現地視察して、地元自治体・住民と意見交換予定）3. 弘前重伝建地区の見直し調査に関する協力4. 横浜市内における茅葺き民家屋根維持状況視察（委員限定 7名参加）
--------	--